

木造建築新工法性能認証一覧

令和8年1月28日現在

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK1a1	枠組壁工法建築物の耐力要素として扱う 集成材ラーメン工法 新Gフレーム	三井ホーム(株)	工法/ 性能証明	当該工法及び構造計算法は、平成13年国土交通省告示（平成19年改正）第1540号第十第一号に定める構造計算によって、安全であることが確かめられるものとして妥当である。	平成20年 5月12日
<p>特 徴：この工法は、3階建て以下の枠組壁工法建築物の1階又は1～2階吹抜け部において、耐力壁により構成される耐力壁線に代えて、集成材ラーメンフレームを設置することにより、鉛直荷重及び水平荷重を負担させることができるものである。</p>					
<p>所 在 地：東京都 問い合わせ先：03-3346-4649（三井ホーム(株) 広報グループ）</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK1a2	ネジを使用した枠組壁工法建築物の耐力壁	三井ホーム(株)	工法/ 性能証明	平成13年国土交通省告示第1540号第二で規定されている枠材（集成材）と面材（構造用合板）を使用し、面材の接合具にネジを用いた枠組壁工法の耐力壁について、試験により得られた構造特性値（基準耐力、構造特性係数、終局耐力及び剛性）及び低減係数が、その壁高さと壁長さに関する適用範囲内において妥当である。 ・壁高さ：910mm以上、3,050mm以下 ・壁長さ：600mm以上	平成22年 12月24日
<p>特 徴：この耐力壁は、枠組壁工法建築物の枠材と面材を専用のネジで留めつけたもので、従来の耐力壁の2倍以上の耐力があることを評価したものである。</p>					
<p>所 在 地：東京都 問い合わせ先：03-3346-4649（三井ホーム(株) 広報グループ）</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK2a1	MK ラーメンシステム	銘建工業(株)	工法/ 性能証明	当該工法及び構造計算法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって、安全であることが確かめられるものとして妥当である。	平成20年 9月10日
<p>特 徴：この工法は、3階建て以下の面材を用いた耐力壁で構成された集成材等建築物において、その一部又は一方向全てを集成材ラーメンフレームとしたものである。</p>					
<p>所 在 地：岡山県 問い合わせ先：0867-42-3660（銘建工業(株) 大断面工場）</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK2a2	CLT床板90	銘建工業(株)	工法/ 性能証明	床及び勾配屋根構面の面内せん断試験を基に誘導した厚さ90mmの直交集成板（CLT）を用いた水平構面の短期許容せん断耐力は、申請書類の適用範囲内において、建築基準法施行令第3章第3節の仕様規定（令第46条第2項を含む）を満たしたうえで、ルート1又はルート2の構造計算（水平力に対する許容応力度計算）に用いる数値として妥当である。	平成28年 2月22日
<p>特 徴：この工法は、構造用製材又は構造用集成材を軸組に用いた木造軸組工法建築物（集成材等建築物を含む）の床又は勾配屋根の水平構面に直交集成板（CLT）を用いるものである。CLTは厚さ90mm（3層3プライ）、強度等級Mx60以上、樹種はスギで、CLTと横架材及びCLT相互の接合には、四角穴付きタッピンねじSTS6.5・Fを用いる。</p>					

所在地：岡山県 問い合わせ先：0867-42-3660（銘建工業㈱ 大断面工場）

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK2a3	CLT床板150	銘建工業㈱	工法／ 性能証明	床構面の面内せん断試験を基に誘導した厚さ150mmの直交集成板（CLT）を用いた水平構面の短期許容せん断耐力は、申請書類の適用範囲内において建築基準法施行令第3章第3節の仕様規定（令第46条第2項を含む）を満たしたうえで、ルート1又はルート2の構造計算（水平力に対する許容応力度計算）に用いる数値として妥当である。	平成28年 2月22日
<p>特 徴：この工法は、構造用製材又は構造用集成材を軸組に用いた木造軸組工法建築物（集成材等建築物を含む）の床又は小屋水平構面に直交集成板（CLT）を用いるものである。CLTは厚さ150mm（5層5プライ）、強度等級Mx60以上、樹種はスギで、CLTと横架材及びCLT相互の接合には、イタリア R otho Blaas製のビスを用いる。</p>					
<p>所在地：岡山県 問い合わせ先：0867-42-3660（銘建工業㈱ 大断面工場）</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK2a4	CLT床板60	銘建工業㈱	工法／ 性能証明	床及び屋根構面の面内せん断試験をもとに、「木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2017年版）、公益財団法人日本住宅・木材技術センター発行」の第3章の面材張り床水平構面の詳細計算法により誘導した厚さ60mmの直交集成板（CLT）を用いた水平構面の単位長さあたりの許容せん断耐力が、申請書類の適用範囲内において、在来軸組工法、集成材等建築物及びCLTパネル工法建築物等の水平構面の許容せん断耐力に用いる数値として妥当である。	令和4年 7月20日
<p>特 徴：本工法は、構造用製材又は構造用集成材を軸組に用いた木造軸組工法建築物（集成材等建築物を含む）の床又は勾配屋根の水平構面に直交集成板（CLT）を用いる工法である。CLTは厚さ60mm（3層3プライ）、強度等級Mx60以上、樹種はスギ同等以上で、CLTと横架材及びCLT相互の接合には、四角穴付きタッピンねじSTS6.5・Fまたは太め鉄丸釘（CN90）を用いる。</p>					
<p>所在地：岡山県 問い合わせ先：0867-44-4880（銘建工業㈱ 木質構造事業部）</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK3a1	木造軸組工法建築物の耐力要素として扱う集成材ラーメン工法「パワーストラクチャー」	ナイス㈱	工法／ 性能証明	木造軸組工法建築物の1階部分及び1、2階部分に水平力抵抗要素として用いる門型ラーメンの構造耐力性能の評価方法及び構造計算方法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって安全であることが確かめられるものとして妥当である。	平成21年 7月1日 変更： 平成30年 4月1日
<p>特 徴：この工法は、3階建てまでの木造軸組工法建築物において、1層又は2層の集成材の門型ラーメンフレーム「パワーストラクチャー」と耐力壁とを併用して水平力に抵抗させる工法です。</p>					
<p>所在地：神奈川県 問い合わせ先：045-503-6433（木と住まい構造設計㈱）</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK4a1	モッケンフレーム工法	木建技研㈱	工法/ 性能証明	接合部にモッケン金物を使用した1層の木質ラーメンの構造耐力性能の評価方法及び構造計算方法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算に準じて安全であることが確かめられるものとして、妥当である。	平成23年 1月15日
特 徴：この工法は、1層門型ラーメンフレームの構造耐力評価方法と構造計算方法の妥当性を示し、建築物全体の構造計算の際に他の耐力壁と合わせて評価できることとしたものである。					
所 在 地：大阪府 問い合わせ先：072-752-0436					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK5a1	「ラグスクリューボルト接合設計マニュアル(Ver. 1.0)」 -ラグスクリューボルト接合 (MK仕様、HT仕様、GW仕様)、ラグスクリューボルト接合部 (MK-MR接合システム、HT-YGF接合システム) -	ラグスクリューボルト研究会	工法/ 性能証明	「ラグスクリューボルト接合設計マニュアル(Ver. 1.0)」のMK仕様、HT仕様及びGW仕様のラグスクリューボルトの軸方向の耐力・剛性の評価方法は、妥当である。また、集成材等建築物にラーメンフレームを用いたMK-MR接合システムの柱梁及び柱脚のモーメント抵抗接合部の設計法並びにHT-YGF接合システムの柱脚のモーメント抵抗接合部の設計法は、妥当である。	平成23年 11月25日
特 徴：この工法は、ラグスクリューボルトを用いたラーメンフレーム接合部の耐力・剛性の設計法を評価したものである。					
所 在 地：京都府宇治市 問い合わせ先：0867-42-3660 ラグスクリューボルト研究会 事務局 (銘建工業(株) 大断面事業部内)					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK5a2	「ラグスクリューボルト接合設計マニュアル(Ver. 2.0)」 -ラグスクリューボルト接合 (MK仕様、HT仕様、GW仕様)、ラグスクリューボルト接合部 (MK-MR接合システム、HT-YGF接合システム、YSロック接合システム) -	ラグスクリューボルト研究会	工法/ 性能証明	「ラグスクリューボルト接合設計マニュアル(Ver. 1.0)」(認証番号NSK5a1) に追加されたラグスクリューボルト接合 (GW仕様) 及びYSロック接合システムの接合部設計法は、集成材等建築物のラーメン接合部を設計する上で妥当である。	平成27年 10月5日
特 徴：この工法はラグスクリューボルトを用いたラーメンフレーム接合部の耐力・剛性の設計法を評価したもので、平成23年11月25日に認証した「ラグスクリューボルト接合設計マニュアル(Ver. 1.0)」(認証番号NSK5a1) にGW仕様のラグスクリューボルト仕様及びYSロック接合システムによる柱梁及び柱脚のモーメント抵抗接合部仕様を追加されたものである。					
所 在 地：京都府宇治市 問い合わせ先：0867-42-3660 ラグスクリューボルト研究会 事務局 (銘建工業(株) 大断面事業部内)					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK6a1	段差テクノビーム工法	パナソニック ㈱ライフソリューションズ 社	工法/ 性能証明	段差テクノビームの曲げ剛性及び曲げ耐力の低減係数の範囲内であれば、2階以上の床組に配置した段差テクノビームは、段差がないものとして扱うことができる。	平成24年 4月1日 変更： 平成28年 2月15日、 平成31年 4月23日

特 徴：本工法は、テクノストラクチャー工法の2階以上の床組に使用し、段差のあるテクノビームをバルコニー部分に用いることによって、バルコニー床面と室内床面をフラットにすることが可能となる。
所 在 地：大阪府門真市 問い合わせ先：06-6906-7270 パナソニックアーキスケルトンデザイン(株)

認証番号	工法の名称	認証取得者名	認証区分	認証事項	認証日
NSK6a2	幅狭耐力壁	パナソニック 株式会社 ライフソリューションズ社	構造性能/ 性能証明/ 工法	柱を切り欠いた部分に面材（構造用合板）を真壁仕様で納め、面材の接合具にネジを用いた幅狭耐力壁（1階用：幅300mm、450mm、2階以上用：幅450mmに限定）の短期許容せん断耐力及び剛性が、申請書類の適用範囲内において妥当であり、これら数値を用いて、許容応力度計算（ルート1、ルート2）が可能である。	平成27年 11月25日 変更： 令和6年 2月16日 変更：令 和6年9月 5日
特 徴：本工法は、テクノストラクチャー工法において使用する柱を切り欠いた部分に構造用合板（厚さ9mm）を真壁仕様で納めた耐力壁で、構造用合板の上下と横架材の間に隙間を設けたものである。1階用と2階以上用があり、幅（柱芯々間距離）は1階用が300mmと450mmの2種類、2階以上用は450mmの1種類である。					
所 在 地：大阪府門真市 問い合わせ先：06-6906-7270 パナソニックアーキスケルトンデザイン(株)					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	認証区分	認証事項	認証日
NSK6a3	ブレース耐力壁	パナソニック 株式会社 エコソリューションズ社	構造性能/ 性能証明/ 工法	木造軸組工法建築物において用いる、2本のブレースを鉛直構面の上下にネジ及びボルトを用いて横架材と柱に対して固定することで構成される耐力壁について、試験により得られた短期許容せん断耐力及び剛性が妥当であり、その試験結果を基に得られる適用範囲内での短期許容せん断耐力及び剛性の算出方法が妥当である。さらに、適用範囲内において、柱高さをパラメータとする解析モデルによってその挙動が再現され、各組み合わせにおいて柱に付与される曲げモーメントの推定値及びその数値を検定に供する手法が妥当である。	平成29年 3月31日 変更： 令和6年 2月16日
特 徴：本工法は、テクノストラクチャー工法において使用する、2本のブレースを鉛直構面の上下にネジ及びボルトを用いて横架材と柱に対して固定することで構成される耐力壁である。配置階と横架材間内法距離に応じて、4種類の仕様（品番）がある。					
所 在 地：大阪府門真市 問い合わせ先：06-6906-2269 パナソニックESテクノストラクチャー(株)					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK6a4	テクノストラクチャー工法におけるテクノビーム断熱強化仕様	パナソニックハウジングシステムズ株式会社	工法/ 性能証明	テクノストラクチャー工法と在来工法による胴差部ならびに桁梁部の断熱性能が同等であることを示し、テクノストラクチャー工法の外壁熱貫流率計算において、在来工法と同じ方法で計算することは妥当であり、防露性能についても問題ない。	令和4年 6月30日
特 徴：テクノストラクチャー工法の胴差部ならびに桁梁部に配置される、軽量H形鋼の上下フランジに45mm×105mmの木材（以下上端材または下端材）を取り付けた、木と鉄の複合梁（以下テクノビーム）の側面に、各種断熱材を施工して認証事項を実現するものである。					
所 在 地：大阪府門真市 問い合わせ先：06-6906-7270					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK6a5	Mフレームシステム～テクノストラクチャー工法における門型フレーム～	パナソニックアーキスケルトンデザイン株式会社	工法/ 性能証明	木造軸組工法建築物（テクノストラクチャー工法）において用いる、鉄骨複合梁と柱の両端に仕口金具を有する接合部付き集成材とで構成される門型フレーム（Mフレームシステム）は、令第46条第4項の規定による国土交通大臣の認定を受けた軸組と同等のため、短期許容せん断耐力が、適用範囲内で妥当である。	令和7年 8月6日
	特 徴： 門型フレームは軽量H形鋼の上下に天端材を取り付けた鉄骨複合梁と構造用集成材の両端に仕口金具を有する接合部付き集成材とで構成される門型架構である。門型フレームには、梁の直交方向に接合用の鉄骨複合梁が取り付け交差型と門型フレームに対し金具を用いて接合する独立型の2種類がある。また配置箇所において、1階のみに配置するものと2階以上に配置するものがある。 (2階以上は全て交差型)				
	所 在 地：大阪府門真市 問い合わせ先：06-6906-8519				

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK6a6	ロの字型剛接合フレーム	パナソニックアーキスケルトンデザイン株式会社	工法/ 性能証明	木造軸組工法建築物（テクノストラクチャー工法）において用いる、ロの字型に組んだ鉄骨複合梁のフレームで水平構面としての単位長さあたりの短期許容せん断耐力が、フレームを構成する梁と長さの適用範囲内で妥当であり、これら数値を構造計算（ルート1、ルート2）において、水平構面の短期許容せん断耐力として算入可能である。	令和8年 1月20日
	特 徴： 梁（H形鋼：250×100×6×12の上下に集成材：105×45をねじ留め）をロの字型に組み、隅角部のH形鋼同士を溶接することで、矩形の水平構面を形成する。また、区画の大きさに応じて短期許容せん断耐力を有している。 ロの字型のフレームは運搬を考慮し、現場で組み立てることを想定している。そのため、隅角部では曲げを伝達できるよう、工場で溶接したコの字型を2つ製作し、現場でその間に2本の梁を入れ、高力ボルトで剛接合して矩形に組み上げる。 なお、この水平構面を構成する矩形の梁組内には火打ちや床などの水平構面を併用（足し合わせ）せず、単独で用いる。一方、水平構面の上部に設けた屋根構面や、フレームと同一層に設けた別の水平構面とは、通常の水平構面同様に短期許容せん断耐力の足し合わせを可能とする。 本フレームは、主に吹き抜け空間の火打ちをなくし、デザイン性や施工性の向上を目的としている。階段部など水平構面を確保しにくい箇所に用いることで、設計の自由度を高めることを可能とする。				
	所 在 地：大阪府門真市 問い合わせ先：06-6906-8519				

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK7a1	HSフレームシステム門型ラーメン構法	(株)グランドワークス	工法/ 性能証明	当該工法及び構造計算方法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって安全であることが確かめられるものとして、妥当である。	平成24年 6月1日
	特 徴： この工法は、1層～3層までのHSラーメンフレームの構造耐力評価方法と構造計算方法の妥当性を示し、建築物全体の構造計算の際に他の耐力壁と合わせて評価できることとしたものである。				
	所 在 地：富山県滑川市 問い合わせ先：076-471-2021				

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK7a2	HSフレームシステム木構造	(株)グランドワークス	工法/ 性能証明	当該工法及び構造計算方法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって安全である	平成27年 5月20日

				ることが確かめられるものとして妥当である。	
特	徴：この工法は、1～3層のHSラーメンフレームをHSS金物、HSZ金物等を使用した基本構法と併用し、耐力壁とラーメンフレーム又はラーメンフレームのみで水平力に抵抗するものである。HSラーメンフレームは、柱・はりに構造用集成材を使用し、接合部にはラグスクリューボルトと変形能力の高いボルト（SNR材）を使用している。				
所在地：富山県滑川市 問い合わせ先：076-471-2021					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK7a3	ストローク	㈱ストローク	工法／性能証明	当該工法及び構造計算方法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって安全であることが確かめられるものとして妥当である。	平成29年7月20日
特	徴：この工法は、既認証の「HSフレームシステム木構造」に、勾配付きのラーメンフレームの使用を可能としたもので、「HSフレームシステム木構造」と同様、ラーメンフレームは、柱・はりに構造用集成材を使用し、接合部にはラグスクリューボルトと変形能力の高いボルト（SNR材）を使用している。				
所在地：富山県滑川市 問い合わせ先：076-471-2021					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK8a1	DRフレーム工法	㈱オノツカ ㈱木質環境建築	工法／性能証明	当該工法及び構造計算方法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって安全であることが確かめられるものとして、妥当である。	平成25年11月1日
特	徴：この工法は、柱、梁を2材合わせの部材を用い、接合部を鋼板ビス留めラーメン接合としたラーメンフレームを用いたもので、耐力壁とDRフレーム又はDRフレームのみで地震・風等の水平力に抵抗するものである。				
所在地：福島県郡山市（㈱オノツカ） 千葉県美浜区（㈱木質環境建築） 問い合わせ先：024-945-1393（㈱オノツカ）					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK9a1	Smart Skeleton GATE	㈱LIXIL	工法／性能証明	当該工法及び構造計算方法は、建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって安全であることが確かめられるものとして、妥当である。	平成26年3月1日
特	徴：この工法は、3階建て以下の木造軸組工法建築物の水平力抵抗要素として用いる1～3層の引きボルト式ラーメンフレーム構造である。				
所在地：東京都江東区 問い合わせ先：03-3638-8156					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK10a1	M-WEシステムー スギを利用した宮崎 式工法ー	ウッドエナジ ー協同組合	工法／性能証明	当該工法及び構造計算方法は、申請書類の適用範囲内において建築基準法と照らし合わせた結果、構造体の性能に対する検討が、安全であることが確かめられるものとして妥当である。	平成26年12月24日
特	徴：この工法は、平屋建ての木造倉庫で、柱及び梁にスギ集成材を用い、接合部を鋼板ビス留め接合としたトラスフレーム及び木ブレースを用いた工法である。Aタイプ及びBタイプの2種類のプランがあり、Aタイプは、梁間12m、桁行24mを基本プランとした架構、Bタイプは、梁間9m、桁行18mを基本プランとした架構である。				
所在地：宮崎県日南市 問い合わせ先：0987-68-1038					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK10a2	M-WEシステム II スギを利用した宮 崎式工法一	ウッドエナジ ー協同組合	工法/ 性能証明	「M-WEシステム」(認証番号NSK10a1)に追加され たAIIタイプの工法及び構造計算法(基礎の設計及 び屋根葺き材・外装材、2次部材(垂木・間柱)の 設計は除く)は、建築基準法と照らし合わせた結 果、構造体の性能に対する検討が、安全であるこ とが確かめられるものとして妥当である。	平成28年 3月10日
特 徴: この工法は、既認証の「M-WEシステム」(認証番号NSK10a1)にAIIタイプを追加したもので、「M-WEシステム」と同様、柱及び梁にスギ集成材(スギ・ヒノキ異種複合集成材を含む)を用い、接合部を鋼板ビス留め接合等としたトラスフレーム及び木ブレースを用いた木造倉庫である。AIIタイプは「M-WEシステム」のAタイプの外力の適用範囲を広げたもので、梁間12m、桁行24mを基本プランとした架構となっている。					
所 在 地: 宮崎県日南市 問い合わせ先: 0987-68-1038					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK11a1	徳島スギとMDFを 用いた充腹梁工法	中千木材(有)	工法/ 性能証明	木造住宅の床梁及び小屋梁に使用する当該工法は、 建築基準法等と照らし合わせた結果、鉛直荷重 による充腹梁の曲げ、たわみ及びせん断に対する 検討が、申請書類の適用範囲内において、安全で あることが確かめられるものとして妥当である。	平成27年 3月25日
特 徴: この工法は、スギ製材の弦材及び束材に構造用MDFをタッピンねじで留め付けた充腹梁を、木造住宅の床梁・小屋梁に使用する工法である。充腹梁の幅は120mm、成は450mmで、スパン4P以上6P以下(ただし1Pは910mm以上950mm以下)の範囲で用いることができる。					
所 在 地: 徳島県阿南市 問い合わせ先: 0884-44-2025					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK11a2	徳島スギとMDFを 用いた水平構面	中千木材(有)	工法/ 性能証明	木造建築物の床・屋根に使用する徳島スギ板とMD Fを用いた水平構面の床倍率が、平成13年国土交通 省告示第1347号「評価方法基準」第5の階数が2以 下の木造の建築物における基準に従った計算をす るうえで妥当であり、短期許容せん断耐力が、水 平力に対する許容応力度計算をするうえで妥当で ある。	平成28年 10月20日
特 徴: この工法は、木造軸組工法の床組又は小屋組に、厚さ30mmのスギ板を打ち付け、その上にMDFを張って水平構面を構成する工法である。主として板倉工法での利用が想定されている。					
所 在 地: 徳島県阿南市 問い合わせ先: 0884-44-2025					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK12a1	SSW14工法	株MoNoplan	工法/ 性能証明	4階建ての枠組壁工法建築物の1階の全部又は一部 に、厚さ24mmの構造用合板を釘打ち(壁材の外周 部分は2-CN75@50、その他の部分はCN75@100)した 耐力壁を用いるSSW14工法の工法及び構造計算法 は、平成13年国土交通省告示第1540号第9に定める 構造計算によって、安全であることが確かめられ るものとして妥当である。	平成28年 11月16日
特 徴: この工法は、4階建ての枠組壁工法建築物の1階に、厚さ24mmの構造用合板を釘打ち(壁材の外周部分は2-CN75@50、その他の部分はCN75@100)した高耐力の耐力壁を用いる工法で、保有水平耐力					

計算により安全確認が行われるものである。	
所在地：東京都千代田区	
問い合わせ先：03-6206-8141	

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK13a1	GUTT-FRAME工法	カスタムハウジング(株)	工法/ 性能証明	木造軸組工法建築物の1階部分に水平力抵抗要素として用いる1層門型ラーメンフレーム(GUTT-FRAME)の短期許容せん断耐力及び剛性は、建築基準法施行令第46条第2項第一号により行う構造計算に用いる数値として妥当である。	平成29年 1月30日 変更： 平成29年 6月6日
特 徴：この工法は、地上3階建て以下の木造軸組工法建築物の1階にラーメンフレームを用いる工法である。(公財)日本住宅・木材技術センター発行「木造ラーメンの評価方法・構造設計の手引き(2016年版)」における「耐力壁置換法」に準拠してラーメンフレームの評価及び構造計算が行われる。					
所在地：大阪府大阪市 問い合わせ先：06-6309-1131					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK14a1	間仕切り合板耐力壁	H. R. D. SINGAPORE PTE LTD	工法/ 性能証明	柱、横架材及び床材を介して下部横架材に留めつけた受材に、構造用合板をくぎで接合した真壁床勝ち仕様の間仕切り合板耐力壁の短期許容せん断耐力は、適用範囲内において妥当である。	令和元年 7月25日
特 徴：この工法は、木造軸組工法建築物に用いる耐力壁であって、柱、上部横架材及び床材を介して下部横架材に受材をねじで留め付け、外周部にめっき鋼板を取り付けた構造用合板をくぎで受材に接合する真壁床勝ち仕様の耐力壁です。					
所在地：フィリピン共和国カビテ州 問い合わせ先：+63(2)857-8280					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK15a1	TEシステム	(株)オノツカ ジャパン建材(株) 秋田グルーラム(株) 物林(株) (株)木質環境建築	工法/ 性能証明	当該工法及び構造計算法は、平成28年国土交通省告示第611号及び建築基準法施行令第46条第2項に定める構造計算によって安全であることが確かめられるものとして妥当である。	令和元年 8月21日
特 徴：この工法は、CLT壁パネル上に床梁又は屋根梁を配置したCLTパネル工法で、CLT壁パネルのみ又はCLT壁パネルとラーメンフレーム等の他の耐力壁を併用するものです。屋根・床には、軸組工法の小屋組・床組、CLT床パネル又はCLTパネルとほりをラグスクリーで接合したリブ付きCLTパネルを用います。					
所在地：福島県郡山市(株)オノツカ) 東京都江東区(ジャパン建材(株)、物林(株)) 秋田県大館市(秋田グルーラム(株)) 千葉県千葉市(株)木質環境建築) 問い合わせ先：024-945-1393(株)オノツカ)					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別/区分	認証事項	認証日
NSK16a1	SSW14工法耐力壁 (枠組壁)	(株)MoNOp1an 三菱地所(株)	工法/ 性能証明	建築物の枠組壁工法の部分に、厚さ24mmの構造用合板を釘打ち(壁材の外周部分は2-CN75@50、その他の部分はCN75@100)した耐力壁の短期許容せん断耐力、弾性水平剛性、降伏耐力、終局耐力、塑性変形角及び終局変形角の各特性値が、適用範囲内において、平成13年国土交通省告示第1540号第9又は第10に定める構造計算に用いる数値として妥	令和2年 2月14日

				当である。	
特	徴：この工法は、枠組壁工法建築物に用いる高耐力の耐力壁で、厚さ24mmの構造用合板を片面又は両面から釘打ち（各面材の外周部分は2-CN75@50、その他の部分はCN75@100）するものです。許容応力度計算又は保有水平耐力計算により安全確認が行われます。				
所	在 地：東京都千代田区（株MoNOplan、三菱地所株） 問い合わせ先：03-6206-8141（株MoNOplan）				

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK17a1	バットジョイントを有するNLT（ネイル・ラミネイト・ティンバー）による鉛直荷重を支える床版および屋根版	一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会、カナダ林産業審議会	工法／性能証明	枠組壁工法建築物において、当該工法および床版および屋根版の鉛直荷重に対する構造計算法が、平成13年国土交通省告示1540号および第1541号に定める仕様規定および構造計算によって、安全であることが確かめられるものとして妥当である。	令和2年7月31日
特	徴：NLTは、枠組壁工法構造用製材および枠組壁工法構造用たて継ぎ材（以下、ランバーと言う）を縦使いした側面からくぎ等により順次重ねて留め付け、1体の床版または屋根版とする工法である。当該工法はそれらランバーの縦継ぎ部分にバットジョイントを有しているものも含む工法である。				
所	在 地：東京都港区（一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会、カナダ林産業審議会） 問い合わせ先：03-5157-0835（一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会）				

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK18a1	鋼製デバイスを有する木造軸組工法用狭小耐力壁	株式会社タカミヤ	工法／性能証明	当該耐力壁について、試験により得られた剛性及び短期許容せん断耐力の値が、その壁長さおよび壁高さに関する適用範囲内において、「昭和62年国土交通省告示第1899号」の「建築物又は建築物の構造部分」が構造耐力上安全であることを確かめるための構造計算に用いる数値として妥当である。	令和2年10月26日
特	徴：木造軸組工法の455mm幅の柱間（内寸法間350mm）上下2か所に、鋼製デバイスを設けた狭小の耐力壁で、耐力壁に水平荷重が作用した場合に、鋼製デバイスが柱と並行にせん断変形することで水平荷重に抵抗する機構を持つ耐力壁。				
所	在 地：大阪府大阪市北区（株式会社タカミヤ） 問い合わせ先：03-3276-3922（株式会社タカミヤ東京支店）				

認証番号	工法の名称	認証取得者名	種別／区分	認証事項	認証日
NSK19a1	改良型 Midply Wall System	カナダ林産業審議会	工法／性能証明	平成13年国土交通省告示第1540号第十一号又は第二号を採用した枠組壁工法建築物において、改良型 Midply Wall Systemによる耐力壁の面内せん断試験結果により得られた構造特性値（短期基準せん断耐力、降伏耐力、剛性、終局耐力）に低減係数を乗じた値が妥当であり、これらの数値を平成13年国土交通省告示第1540号第十一号又は第二号の構造計算に用いることが可能である。	令和4年4月8日
特	徴：改良型 Midply Wall Systemは、2018年枠組壁工法建築物構造計算指針（一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会編）第Ⅲ編 建物形態別構造計算指針 第4章 中層枠組壁工法建築物の構造設計上のポイント 4.4.3 Midply Wall System（ミッドブライウォールシステム）で示される耐力壁を改良したものである。				
所	在 地：東京都港区 問い合わせ先：03-5401-0531				

認証番号	工法の名称	認証取得者名	区分	認証事項	認証日
NSK20a1	CLTを面材に用いた木造軸組工法用耐力壁（CLT耐力壁60）	ライフデザイン・カバヤ株式会社	工法／性能証明	面内せん断試験をもとに誘導したCLTを面材に用いた木造軸組工法用耐力壁の短期許容せん断耐力及びせん断剛性が、許容応力度計算等に用いる数値として妥当である。	令和4年11月1日
<p>特 徴：CLTを面材に用いた木造軸組工法用耐力壁（CLT耐力壁60）は、60mm厚のCLT（外周部分の面厚を30mm厚に加工）を、L型の接合金物とタッピンねじを用いて木造軸組工法の鉛直構面（柱と横架材で囲まれた構面）に緊結した耐力壁です。接合用のL型金物の数に応じて定まる短期許容せん断耐力及びせん断剛性を用いて、構造計算を行うことができます。</p>					
<p>所 在 地：岡山県岡山市 問い合わせ先：086-241-5533</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	区分	認証事項	認証日
NSK20a2	CLTを面材に用いた木造軸組工法用耐力壁（CLT耐力壁 真壁60）	ライフデザイン・カバヤ株式会社	工法／性能証明	面内せん断試験をもとに誘導したCLTを面材に用いた木造軸組工法用耐力壁の短期許容せん断耐力及びせん断剛性が、許容応力度計算等に用いる数値として妥当である。	令和7年11月20日
<p>特 徴：CLT耐力壁 真壁60は土台、横架材及び柱で構成された軸組に周辺部に加工を施した60mm厚のCLTを耐力壁面材として使用するものであり、CLTと軸組の接合には木ビスを用いた接合金物を使用し、接合金物の数は壁仕様により異なります。接合用のL型金物の数に応じて定まる短期許容せん断耐力及びせん断剛性を用いて、構造計算を行うことができます。</p>					
<p>所 在 地：岡山県岡山市 問い合わせ先：086-241-5533</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	区分	認証事項	認証日
NSK21a1	SFP床パネルシステム	ツカ・カナモノ株式会社	構造性能／工法／性能証明	<p>構造用単板積層材の長期許容応力度は、平成13年国土交通省告示第1024号に規定する値とする。</p> <p>構造用合板の長期許容応力度は、木質構造設計標準・同解説（日本建築学会2006年）設計資料IV日本農林規格構造用合板の基準特性表4.8に示される基準許容応力度を用いる。</p> <p>構造用合板と構造用単板積層材のCN50くぎ接合部の長期許容一面せん断耐力は、2018年枠組壁工法建築物構造計算指針（一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会）第3章構造計算手法3.3接合部及び耐力壁の設計3.3.1接合部の許容耐力、降伏耐力、剛性、終局耐力で計算したくぎ接合部の長期許容一面せん断耐力を用いる。</p> <p>積載荷量1800N/㎡時の床システム構成部材の応力度及び接合部耐力を、木質構造接合部設計マニュアル（日本建築学会）4.接合を利用した部材の設計4.1せん断接合具を利用した組立梁4.1.2.1等分布荷重を受ける組立梁の設計式を用い計算し、構造用単板積層材の長期許容応力度、構造用合板の基準許容応力度及びくぎ接合部の長期許容一面せん断耐力以下となり、平成13年国土交通省告示第1540号第4第10号を満足するものとして認証する。</p>	令和6年3月14日 、変更：令和6年9月25日
<p>特 徴：枠組壁工法建築物の1階床用の、ユニット化された鋼製束と面材等を組み合わせて用いる床パネルシステム。</p>					
<p>所 在 地：大阪府堺市 問い合わせ先：072-362-3841</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	区分	認証事項	認証日
NSK22a1	エコアコールウッド	九州木材工業株式会社	構造性能／ 部品・部材 ／性能証明	エコアコールウッドは、製材の日本農林規格（JAS1083-3）で規定している保存処理の性能区分K4に相当する木材の使用状態（通常より激しい腐朽・蟻害の恐れのある条件下で高度の耐久性を期待できるもの：一般社団法人 全国木材検査・研究協会発行「製材の日本農林規格（JAS 1083）及び解説」）に対して、一定の耐久性・耐用性を有するものとして妥当である。	令和6年 10月 29日
<p>特 徴： エコアコールウッドは、エコアコール（低分子フェノール樹脂）を加圧注入し、養生・乾燥・硬化することにより得られる保存処理木材である。</p> <p>エコアコールとは、メチロール化フェノールモノマーを主成分とする薬剤であり、木材の細胞壁中にまで浸透することができ、熱をかけることにより高分子化し、硬化する。</p> <p>エコアコールウッドは材中で薬剤が硬化しているために腐朽菌による木材成分の分解が困難であり、腐朽菌に対する効果も優れている。シロアリにおいても同様に木材成分の分解が困難なことから効果を示す。また、エコアコールを細胞壁中で硬化させているために割れ抑制効果が非常に高く、寸法安定性にも優れている。木材の劣化は、割れから生じる可能性が最も高く、保存処理木材も、割れが生じることにより薬剤の浸透していない部分が剥き出しになることで、そこから劣化が進むといったケースが多い。劣化の原因となる割れを抑制する効果をそなえているエコアコールウッドは、このことから優れた耐久性を示す。その他の特徴として、材中で硬化させた薬剤は溶脱の心配がないことや、重金属、塩素化合物等の物質を含んでいないため、焼却しても有毒ガスの発生はなく、灰中にも有毒物質の残存はない。使用するにあたって、処理材特有の臭気や着色、表面のべたつきもなく、塗装などのあらゆる加工は無処理材と同様に行える。つまり、エコアコールウッドは、環境にも非常に優しい保存処理木材であるといえる。</p>					
<p>所 在 地： 福岡県筑後市 問い合わせ先： 0942-53-2174</p>					

認証番号	工法の名称	認証取得者名	区分	認証事項	認証日															
NSK23a1	ステーブル（平行又釘）平行打ちで強力杉厚板構面	株式会社大和工務店	構造性能／ 工法／性能 証明	木造建築物の屋根・床に使用する平行又釘で強力杉厚板構面の床倍率が、平成13年国土交通省告示第1347号「評価方法基準」第5の、ホ「階数が2以下の木造の評価対象建築物における基準」③に従った計算を行う上で妥当である。	令和6年 11月 6日															
<p>特 徴： 木造建築物の屋根・床に使用する工業用ステーブル（又釘）平行打ちで強力杉厚板構面の床倍率は、平成13年国土交通省告示第1347号「評価方法基準」第5の、ホ「階数が2以下の木造の評価対象建築物における基準」③に従った計算を行う上で妥当である。各仕様における床倍率を以下に示す。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>仕様1: CN90・3本打ち＋ステーブル@150</td> <td>梁@910</td> <td>床倍率2.0倍</td> </tr> <tr> <td>仕様2: CN90・3本打ち＋ステーブル@150</td> <td>梁@1365</td> <td>床倍率1.8倍</td> </tr> <tr> <td>仕様3: CN90・3本打ち＋ステーブル@300</td> <td>梁@910</td> <td>床倍率1.5倍</td> </tr> <tr> <td>仕様4: CN90・3本打ち（ステーブルなし）</td> <td>梁@910</td> <td>床倍率0.8倍</td> </tr> <tr> <td>仕様5: CN90・3本打ち（ステーブルなし）</td> <td>梁@1365</td> <td>床倍率0.3倍</td> </tr> </table>						仕様1: CN90・3本打ち＋ステーブル@150	梁@910	床倍率2.0倍	仕様2: CN90・3本打ち＋ステーブル@150	梁@1365	床倍率1.8倍	仕様3: CN90・3本打ち＋ステーブル@300	梁@910	床倍率1.5倍	仕様4: CN90・3本打ち（ステーブルなし）	梁@910	床倍率0.8倍	仕様5: CN90・3本打ち（ステーブルなし）	梁@1365	床倍率0.3倍
仕様1: CN90・3本打ち＋ステーブル@150	梁@910	床倍率2.0倍																		
仕様2: CN90・3本打ち＋ステーブル@150	梁@1365	床倍率1.8倍																		
仕様3: CN90・3本打ち＋ステーブル@300	梁@910	床倍率1.5倍																		
仕様4: CN90・3本打ち（ステーブルなし）	梁@910	床倍率0.8倍																		
仕様5: CN90・3本打ち（ステーブルなし）	梁@1365	床倍率0.3倍																		
<p>所 在 地： 岐阜県関市 問い合わせ先： 0575-28-2361</p>																				

認証番号	工法の名称	認証取得者名	区分	認証事項	認証日
NSK24a1	12mm厚パーティクルボード張り桁上水平構面	日本ノボパン工業株式会社	構造性能／ 工法／性能 証明	12mm厚パーティクルボード張り桁上水平構面の存在床倍率：3.4 が評価方法基準(平成13年国土交通省告示第1347号)第5 1-1(3)ホ③の表に準じた存在床倍率の数値として妥当である。 12mm厚パーティクルボード張り桁上水平構面の短期許容せん断耐力：6.7kN/m が水平力に対する許容応力度計算を行う上に妥当である。	令和6年 11月 8日

特 徴	： 本工法は、小屋の梁桁上に構造用面材として12mm厚のパーティクルボードを直張りした水平構面である。小屋の桁、梁および小梁に12mm厚パーティクルボードを釘打ち施工(くぎ：N50, NZ50, C N50, CNZ50、間隔@150mm)する。小屋の梁桁上に12mm厚のパーティクルボードを直張りすることで水平構面の耐力を確保するものである。
所 在 地	： 東京都千代田区
問い合わせ先	： 03-5295-2100